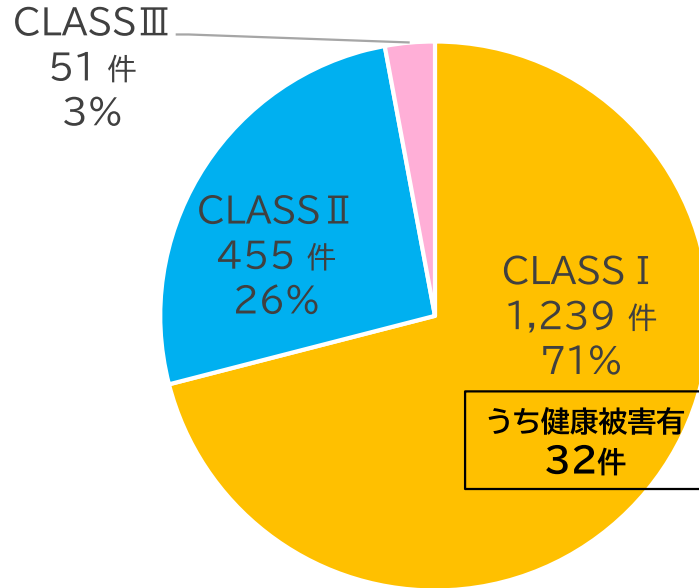


食品表示法に基づく自主回収の届出状況

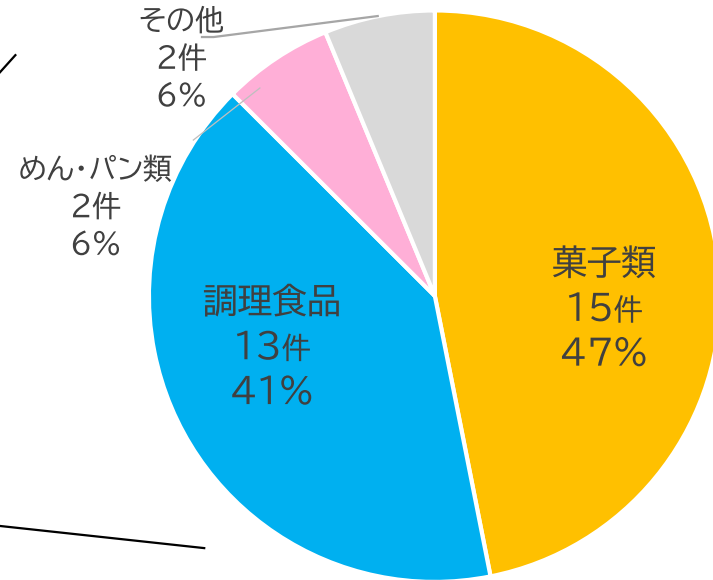
(令和7年4月1日～令和8年3月末日)

食品表示法に関する届出件数

【届出件数 1,745件のCLASS別内訳】



【健康被害有 32件の品目別内訳】



分類	対象となる食品	対象となる表示事項
CLASS I	喫食により重篤な健康被害又は死亡の原因となり得る可能性が高い場合	名称(食品を摂取する際の安全性に影響を及ぼすおそれがあるものに限る。)、消費期限、アレルゲン(特定原材料に準ずるものも含む。)及びL-フェニルアラニン化合物を含む旨に関する表示並びに生食用の誤表示(加熱用の食肉及び魚介類に限る。)に関する表示に係る違反
CLASS II	喫食により重篤な健康被害又は死亡の原因となり得る可能性が低い場合	CLASS I の対象となる表示事項を除く事項に係る違反及びはちみつ(乳児ボツリヌス症に関する注意喚起の表示を含む。)に関する表示の欠落
CLASS III	喫食により健康被害の可能性が、ほとんど無い場合	CLASS I 及びCLASS II の対象となる表示事項を除いたもの及び食品の自主回収の届出を要しない場合に該当する届出

品目	件数	原因	被害内容
菓子類	15	・特定原材料「くるみ・小麦・卵・乳・落花生」の表示欠落 ・消費期限の誤り	・アナフィラキシーショック、湿疹、かゆみ、腹痛、下痢、嘔吐など
調理食品	13	・特定原材料「小麦・卵・乳」の表示欠落	・アナフィラキシーショック、腹痛、唇のかゆみ、嘔吐、喉の痛みなど
めん・パン類	2	・特定原材料「えび・乳」の表示欠落	・腹痛、口腔内の腫れ、唇の腫れ
その他	2	・特定原材料「卵・乳」の表示欠落	・臉の腫れ

●令和7年5月13日 消費者庁次長通知

「食品表示法第10条の2第1項の規定に基づく食品の自主回収の届出について」の一部改正により、「健康への危険性の程度(CLASS分類)」を6条8項府令第1条に規定された範囲の2分類から、同条に該当しない品質事項等を対象とした分類「CLASSⅢ」を追加し、3分類としました。

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/amendment_001/assets/food_labeling_cms203_250515_01.pdf

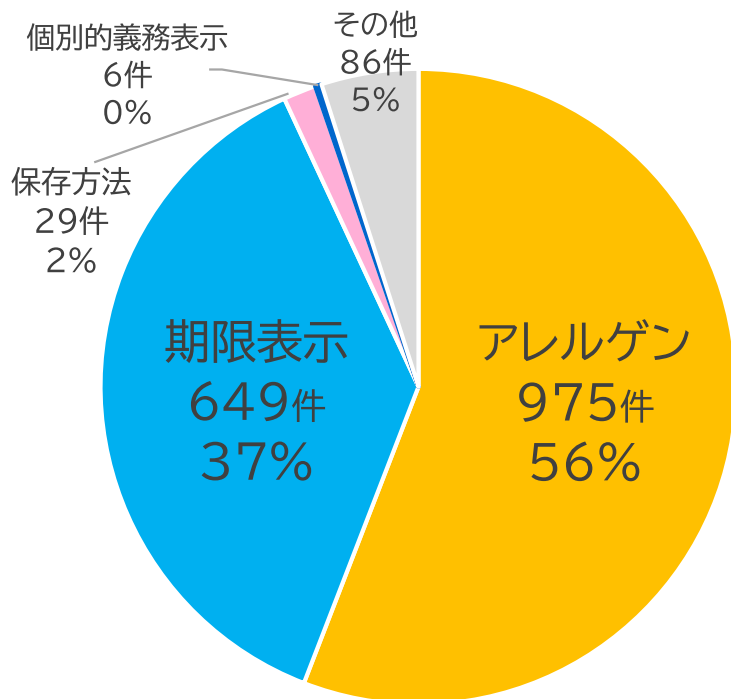
●令和7年5月13日 消費者庁食品表示課長通知

「食品表示法第10条の2第1項の規定に基づく食品の自主回収の届出に係る電子申請等システムへの入力要領及び記載要領に関する留意事項について」の一部改正について

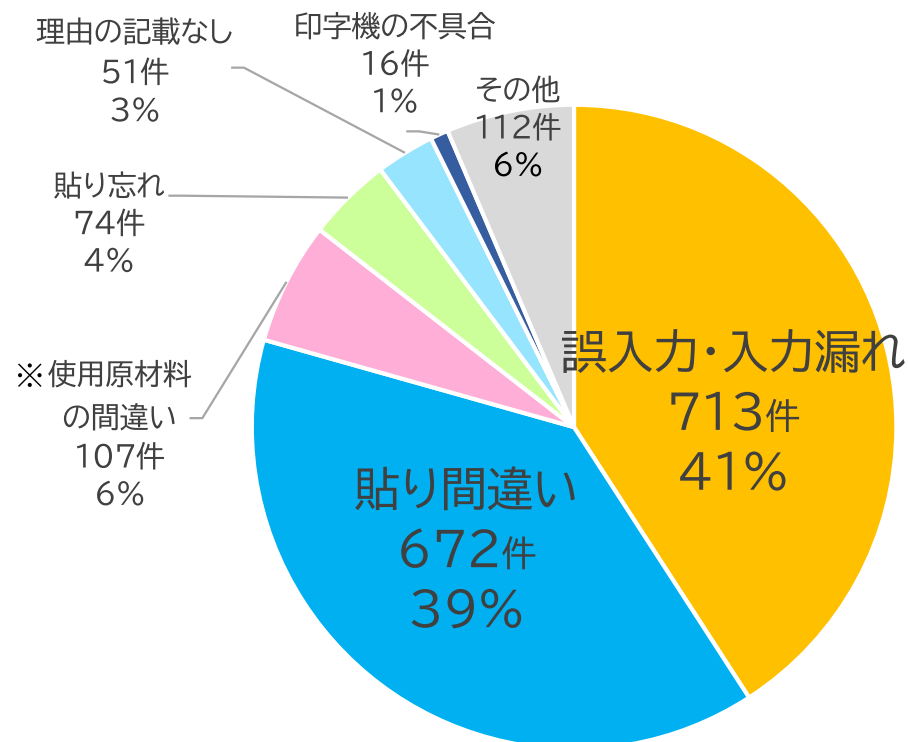
https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/amendment_001/assets/food_labeling_cms203_250515_02.pdf

届出件数1,745件の詳細

①回収理由



②発生原因



◆概要

- 回収理由は「アレルギー」が最も多く全体の56%を占め、次いで「期限表示」が37%となっており、合計で全体の約9割を占めている。
- 発生原因は「ラベルの誤入力・入力漏れ」が最も多く全体の41%を占め、次いで「貼り間違い」が39%となっており、合計で全体の約8割を占めている。

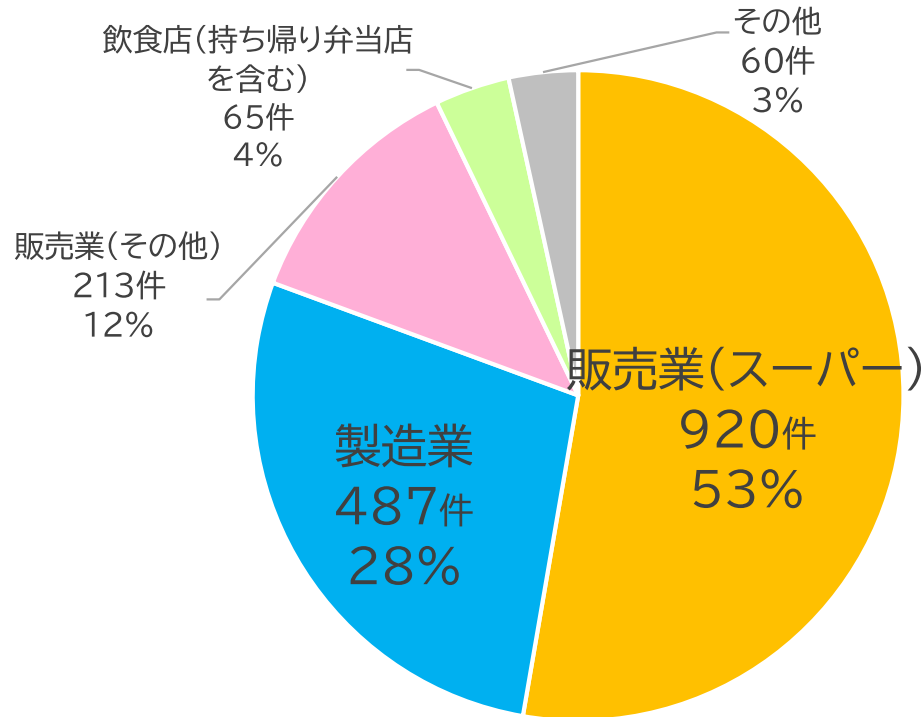
※本来使用しない原材料や調味料を使用したことによるアレルギーの違反に該当。

食品表示法に基づく自主回収の届出状況

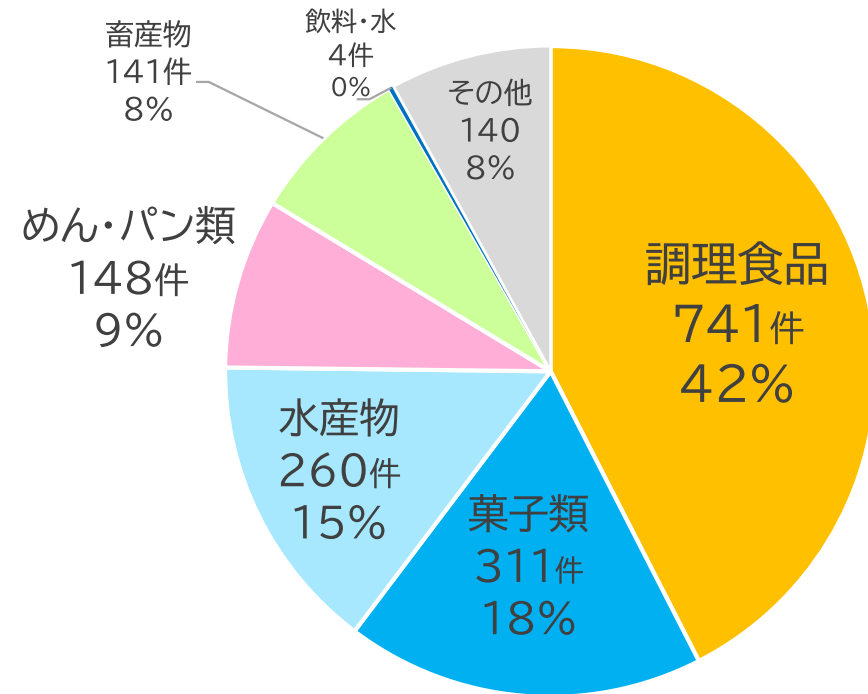
(令和7年4月1日～令和8年3月末日)

届出件数1,745件の詳細

③業種別の件数



④品目別の件数



◆概要

- 業種別の件数は「販売業(スーパー)」が最も多く全体の53%を占め、次いで「製造業」が28%となっており、合計で全体の約8割を占めている。
- 品目別の件数は「調理食品」が最も多く全体の42%を占め、次いで「菓子類」18%、「水産物」15%、「めん・パン類」9%となっている。